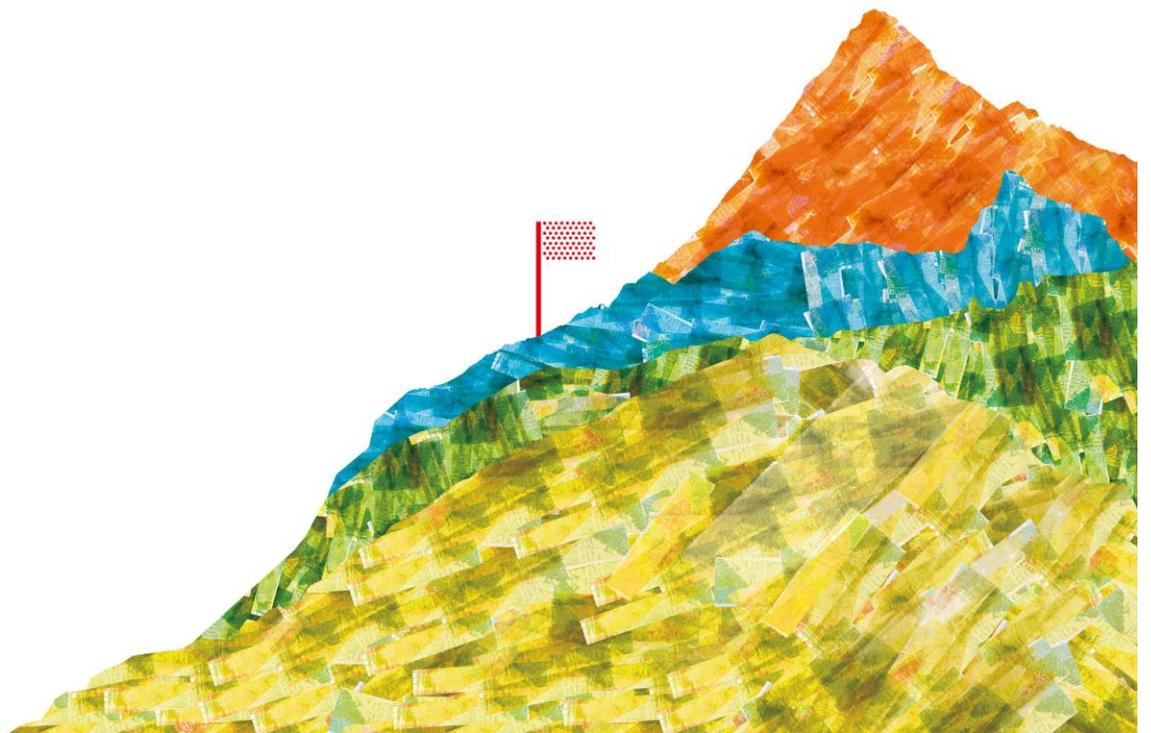


# 令和4年度 事業報告書

## (なんぶエリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

## 令和4年度事業報告書（なんぶ エリア）

### 1 令和4年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 新型コロナウイルスの感染拡大により事業運営に支障を来すことが幾度か発生した。高齢者複合施設としての運営の難しさもあったが、防衛対策として大掛かりな導線の分離や、事業所の移転、空気清浄型専用面会室の設置を行った。
- 2) 新型コロナウイルスの感染患者に対応して、老人保健施設では回復患者退院受け入れ促進事業に、訪問看護ステーションでは鳥取方式在宅療養体制整備事業に協力し、それぞれ実績を得た。
- 3) 米子市に協力し、永江地区におけるフレイル対策推進事業が4年目の終了年度となった。この事業の実証成果をもとに、米子市内では広域に事業展開されることが予定されている。

### 2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

- 1) 前年度に続き、社会貢献事業として永江団地のコミュニティー活性化策について行政・住民との課題検討を継続的に行った。法人が前年度購入した建物の改築整備が終了し、令和5年4月に新たな地域のコミュニティーセンターとして活動を開始することになった。
- 2) コロナ禍の中ではあったものの、5月と10月の日曜日に、地域貢献活動として多数の職員参加のもとに、地域住民も加わり、なんぶ幸朋苑や河川周辺のクリーン活動を実施した。
- 3) なんぶ幸朋苑では初めて、5月に在留資格・特定技能認定の外国人介護士6名が就業開始した。貴重な介護人財として、体制を整え受け入れている。

### 3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) 新型コロナウイルスの感染により、特に通所サービスやショートステイ等の在宅サービスを複数回中断せざるを得ず、経営的には少なからず影響があった。また施設においても、施設内感染が続く間は新入居の対応が難しい状況が続いた。
- 2) 訪問介護・看護や小規模多機能では、度々防護服着用しながら休みなく対応し、前年を上回る実績を上げることができた。
- 3) 燃料費の高騰により収益が圧迫されており、当面改善の見込みが立たないため、経費全般の節約と不採算部門の見直しに着手する時期に来ている。

### 4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	令和4年度（%）	令和3年度（%）	令和2年度（%）
介護老人福祉施設	80	98.6	報告済	報告済
ユニット型介護老人福祉施設	24	96.3	報告済	報告済
介護老人保健施設	36	88.4	報告済	報告済
ユニット型介護老人保健施設	44	80.4	報告済	報告済
ケアハウス	50	96.3	報告済	報告済

グループホームなるみ	27	99.4	報告済	報告済
デイハウスごせんごく	29	91.4	報告済	報告済
デイハウスくずも	25	76.7	報告済	報告済
ビスターレごせんごく	10	98.3	報告済	報告済
生活支援ハウス	20	70.2	報告済	報告済

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>○供養会 ○除草作業 ○秋祭り(くずも) ○開苑祭(なるみ)</li> <li>○さくら保育園とさつま芋づくり交流2回(なるみ)</li> <li>○年忘れ会(なるみ) ○長寿を祝う会(なるみ)</li> <li>○文化祭(特養) ○百寿を祝う会(特養) ○新年会(特養)</li> </ul>
BCP等訓練実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○火災避難訓練(10月27日:日中想定、3月13日:夜間想定)</li> <li>○水防避難訓練(9月16日)</li> <li>○コロナ対応シュミレーション(特養):11月~3月</li> </ul>
エリア内研修状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災 ○エルダー発表 ○排泄 ○リスク(剥離 骨折) ○健康講座</li> <li>○リスク(服薬) ○救急法 ○看取り ○食事 ○認知症 ○安全衛生管理</li> <li>○姿勢・褥瘡 ○身体拘束・虐待 ○感染症 ○法令遵守 ○接遇 ○労働災害</li> <li>○口腔ケア ○ノーリフティング</li> </ul> <p><b>エリア内延べ人数:154名 部署内延べ人数:836名</b></p>
エリア内会議、委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○なんぶ幸朋苑エリア内調整会議 ○衛生委員会 ○職員会議</li> <li>○ISO委員会 ○リスクマネジメント委員会</li> <li>○ケアプラン委員会 ○食事検討委員会 ○研修委員会</li> <li>○排泄検討委員会 ○地域交流委員会 ○褥瘡予防</li> <li>○感染予防対策委員会 ○なんぶ幸朋苑エリア看護師会</li> <li>○リーダー会 ○チーム会 ○在宅会議</li> <li>○ノーリフティング委員会 ○ケアカンファレンス会議(随時)</li> <li>○苦情解決第三者委員会 ○ふれあいの橋の会</li> <li>○身体拘束等適正化委員会</li> </ul>
委員会活動等の成果・実績・反省	<p>○看護師会:感染予防に関して、コロナ現地指導状況等を情報共有し周知に努めた。11月「コロナクラスター防止対策チェックリスト」を用いて自事業所を巡回、改善に向けて検討した。手洗いチェッカーを年1回以上実施し自己チェックを行った。また、「コロナ感染症 BCP 業務継続計画」を作成を目標とし、殆どの事業所で作成できた。誤薬防止に関して、前年度比50%減には届かず13.6%減であった。コロナ対応中の間違いも目立った。今年度は感染対応に追われ誤薬防止対策が十分に行えなかった。次年度は取り組みを強化したい。</p>

	<p>○なんぶ幸朋苑リスク委員会：ヒヤリ・事故についての検討（毎月）、エリアリスク委員を中心にエリア内の3レベル事故、服薬関連事故、ご意見報告について要因分析、再発防止策の有効性について検討を行った。対前年比：(転倒 126%)、(苦情 84%)、薬関連(67%)。誤薬など薬関連の事故がないように、各事業所で意識向上、声出し確認の徹底などで、薬関連事故の減少に繋がる。3レベル事故について、特養、老健、GHなどの自立のご利用者の骨折が多く発生。居室に訪問し転倒に気づく事が多く、環境調整や福祉用具の使用、生活機能訓練の実施などが今後、求められる。コロナ禍での面会禁止などで、職員の接遇や電話対応でのご意見を受ける。</p> <p>○地域交流委員会：前年に引き続き新型コロナ感染症の蔓延に伴い、ボランティアの受け入れ、職員の地域活動参加が制限されている。このような制限を行っている中でも、地域の感染状況を見た上で安全対策（問診、PCR検査結果）を取りながら一部受け入れも行った。サテライト事業所では生活支援のボランティアの受け入れ。エリアとして夏、冬休み期間の高校生体験ボランティアの受け入れを行った。地域貢献活動として各種清掃活動への職員の参加、エリア独自の活動へも多数の職員が参加した。その他、特養では地域の学校へ新聞を配布することで学校教材への活用を通し施設の理解へつなげた。また、そこからビデオレターのやり取り等、新たな交流につながった。</p> <p>○研修委員会：法令に求める必修研修は月例研修に取り入れ、防災・感染症の研修については、中止後のフォローが必要。また、基礎研修は新人参加のため月例研修で実施できない際のフォローが課題となる。今後はリモートも検討し、参加できない際はZOOM録画の共有も必要と考える。</p>
--	--

6 人財状況

<p>外部研修等講師派遣実績</p>	<p>○介護職員初任者研修 ○実務者研修 ○家族向け初任者研修          ○西部在宅ケア研究会世話人会 世話人 武良          ○鳥取大学医学部附属病院・在宅医療推進看護育成研修講師          『看取り研修:地域・在宅での死を考える』 武良          ○西部在宅ケア研究会世話人会 世話人 武良          ○鳥取大学医学部 臨床教授 武良          ○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良          ○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良</p>
<p>外部役職就任状況</p>	<p>○鳥取県介護ロボットのニーズ・シーズ連携強調協議会 委員 山中・原          ○鳥取大学医学部 臨床教授 武良          ○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良          ○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良          ○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良</p>

	○日本認知症予防学会代議員 伊藤
外部表彰受賞状況	○優良従業員会頭表彰：吉岡 鷲見 濱田 ○全社協会長表彰（永年勤続功労）：武田 ○県社協会長表彰（社会福祉施設功労者）：大西 矢野 ○米子市社協会長表彰（永年在職施設職員）：絹谷 有澤 田邊 森安 蔵光 石井 大塚 中西 矢倉

7 地域貢献実績（保育所含む）

実習受け入れ実績 延人数 582人	○島根総合福祉専門学校 ○YMCA 米子医療福祉専門学校 ○米子高等学校 ○境総合技術高等学校 ○鳥取看護大学 ○米子医療センター看護学生 ○大阪健康福祉短期大学 ○島根県立短期大学 ○米子北高看護学校 ○川崎医療福祉大学
ボランティア受け入れ実績 延人数 90人	○奥谷自治会（クリーン活動） ○カフェ ○軽作業 ○傾聴 ○米子西高校（ボランティア体験） ○読み語り ○交流広場
見学受け入れ実績 実人数 54人	○キッズさくら保育園 ○デイサービス （利用希望者・家族）
地域交流活動実績 1 実施回数 42回 延人数 591人	（事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業） ○支え愛カフェ永江 ○五千石相談カフェ ○サツマイモ苗植え、サツマイモ芋ほり
地域交流活動実績 2 実施回数 0回 実人数 0人 延人数 0人	（地域の交流事業に利用者と共に参加したもの）
ボランティア・環境活動参加実績 1 投入実人数 198人	（清掃活動・消防団活動・地域防災活動等） ○溝清掃 ○園庭整備作業 ○なんぶ幸朋苑クリーン活動 ○成実消防団 ○米子市一斉清掃 ○中海アダプトプログラム ○永江県営住宅掃除
ボランティア・環境活動参加実績 2 投入実人数 153人	（見守り活動・学校活動の手伝い等） ○成実小学校通学児童交通安全見守り（4月～10月） ○永江県営住宅高齢者見守り
地域発信活動実績 （介護、看護の日、イベント開催等）	コロナ禍で開催できず
地域発信活動実績(認)	回数、養成者数、資格者投入人数は、必ず記入してください。

<p>知症サポーター養成講座)</p>	<p>コロナ禍で開催できず</p>
<p>地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等)</p>	<p>○尚徳地区体力測定会 ○五千五地区体力測定会 ○成実地区体力測定会 ○永江やって未来や塾 ○成美やって未来や塾 ○永江公民館地区講座 ○五千石相談カフェ ○五千石小学校 高齢者疑似体験</p>